

# 京都大(医)

慶應義塾大(医)



八木原 浩世さん(洛南高校)  

## 志望校に特化した対策

私は、高3の6月になるまで一切塾などには通わず、学校の勉強だけを行ってきました。しかし、高3になって本格的に京大医学部をめざし始めた時、それでは足りないことに気がきました。学校の授業では一通り科目の内容を学ぶことはできても、ある特定の大学の対策はできないんです。その点、名門会では1対1の個別指導を通して自分の志望校に特化した対策をしていただき、非常に助かりました。本当に、感謝しかないです。



### 合格の秘訣

京大医学部合格のカギは「極端に苦手な科目を作らないこと」です。京大医学部は、他の学部比べて合格に必要な点数が非常に高く、英数国理どれか一つ失敗しても致命傷になりえます。苦手科目を敬遠し、得意科目ばかりを勉強するのではなく、すべての科目を幅広く勉強することが大切だと思います。

### プロ教師から

#### 京医合格に必要な問題の構造理解

数学の基礎はしっかりしていたものの、京大入試で求められるような高度で何から手をつけてよいかわからないような問題に対応するための力は充分ではありませんでした。そこで、問題の構造に応じて「アプローチの選択肢にどのようなものがあるか」や、「なぜこの問題ではこのアプローチを選択するのがベストか」などを重点的に指導しました。次第に問題の本質を見抜く力をつけて、自信を持って入試に臨んでくれました。

#### 合格の決め手!

京大の過去問を、前期後期模試などをすべてあわせると50分以上しっかりとこなしました。間違えた問題を徹底的に分析したことで問題を解く力が格段に上がり、京大医学部・慶應大医学部の合格を勝ち取ってくれました。

#### 指導教科 数

古村 政貴先生



#### 合格実績校

京都大(医)、京都府立医科大(医)、大阪医科薬科大(医)、関西医科大(医) 他

#### 記述をまとめる創意工夫を指導

当初から記述問題を書く上での苦手意識はなかった。どちらかというと読解や記述問題に対する意識は高かった。しかし、意識が高い生徒ほど、京都大学の国語問題であれ、慶應義塾大学の小論文であれ、解法の基本となる読解と記述の定石を超えてしまう傾向があり、八木原君も文章解釈の深読み、記述ポイントの逸脱が見られた。そこで、基本的な本文解釈と、ポイントを外さない記述のあり方を指導することで、得点の向上をめざした。

#### 合格の決め手!

京都大学国語入試問題の傾向をしっかりと理解し、問題分析と解く時の記述構成を身につけた点と、慶應義塾大学の小論文では、設問が求めている実証的な小論文の書き方を理解して、入試でも確実に実践できたことが、決め手といえるだろう。

#### 指導教科 国

浅尾 善浩先生



#### 合格実績校

京都大(医)、大阪大(医)、東北大(医)、北海道大(医)、名古屋大(医) 他

# 大阪大(医)

河相 剛さん(東大寺学園高校) 



## 合格への鍵

私は高3の夏に名門会に入会しました。それまでまったく手をつけていなかった物理を、残り半年でどうにか合格ラインまで引き上げたいと思い、指導をお願いしました。先生の指示に従えば大丈夫と信じたおかげで合格をつかみ取ることができました。名門会のメリットは、予備校のようなカリキュラムに則った授業ではなく、自分の希望にあわせた授業をしてくれる点です。この大きなメリットを私たち生徒がどう活かすかが、合格の鍵になるとと思います。



### 合格の秘訣

問題集は厳選して、特によいと感じた数冊を完璧にするのが大切だと思います。私は物理の澤田先生に勧められた『名問の森』と『エッセンス』だけしか用いませんでした。直前期にすることは復習だけなので、解いた問題集が多いと不安が大きくなるだけだと思います。

### プロ教師から

#### 思いつきや閃きに頼らない安定した得点力

河相君は、成熟した考え方ができる生徒でした。模試の結果に一喜一憂しないことや、合格点ギリギリをめざすのではなく、余裕を持って合格できるラインを当たり前のようにめざすところが印象的でした。私の指導では思いつきや閃きに頼らない安定した得点力をつけてもらいますので、河相君の性格には指導方針があっていたのかも知れません。単振動や波動といった苦手な範囲の克服から始めて、知識の穴埋めや整理をお手伝いしました。

#### 合格の決め手!

合格するための学力の基準を、高めに設定していたことだと思います。少し失敗しても問題なく受かるラインまで学力を高めていたので、試験前もメンタルが安定していました。余裕を持った準備ができる落ち着いた性格も要因です。

#### 指導教科 物

澤田 昇太先生



#### 合格実績校

大阪大(医)、奈良県立医科大(医)、兵庫医科大(医)、近畿大(医) 他

#### 小さな継続が大きな成果に

高校3年生の夏での入会だったため、受験まで時間がありませんでしたが、かなりの量の宿題を毎週必ずこなした結果、2カ月で基本単元の総復習を終えることができました。その後も大阪大学の過去問は全て解き終え、同じ傾向・レベルの他大学の過去問でのアウトプット練習も行い、現役での合格を勝ち取ることができました。塾と学校で忙しい中でも、毎週過去問の演習量を確保したことが合格につながったと思います。

#### 合格の決め手!

過去問や阪大模試を使って、志望校である大阪大学の問題については解いていない問題がなくなるくらい演習を行ったことです。最後は解く問題がなくなったため、似ている他大学の問題で練習していました。

#### 指導教科 物

教務担任  
久保 尚也



#### 合格実績校

京都大(医)、大阪大(医)、奈良県立医科大(医)、大阪医科薬科大(医) 他